

下北山村

下北山スポーツ公園の活性化（観光振興の拠点整備）



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 下北山スポーツ公園の二本の柱である「スポーツ合宿」は減少傾向にあり、新たなターゲット層を見据えた整備が必要である。一方キャンプ場は、一定の集客を見込んでいるが顧客ニーズに対応した新たな整備が必要。
- ② 合宿施設の部屋を洋式の個室に一部改修、そして宿泊施設内やキャンプ場エリアにWi-Fi整備を進めており、ワーケーションとして新たな顧客獲得を目指す。今後プロモーションが課題。
- ③ 施策 「観光振興と新しい働き方の提案」
- ④ 重点分野 スポーツ合宿の誘致とワーケーションの推進。

2 取組の概要

【サッカー合宿推進の為の取組】

- 奈良県との連携（フットボールビレッジ構想）
- 天然芝グラウンド良質化
- 宿泊施設の個室化
- Wi-Fi整備

【ワーケーションを推進する為の施設機能強化】

- エリア内のWi-Fi整備
- コテージ等施設のリニューアル
- ワーケーションプランの促進

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

【サッカー合宿推進の取組】

- 新型コロナウイルス感染の影響で合宿客が激減の中、コロナ収束後を見据えたグラウンドの環境整備、客室の個室改修を行ったが、今後幅広い層へのアプローチを目指しグラウンドの新設と集客強化の為にプロモーションを行う。

【ワーケーションを推進する為の施設機能強化】

- ワーケーションを推進する為の施設整備を進めたが、今後滞在時間を促す遊びと仕事が両立できる空間づくりやプロモーションを行う。

詳しくは スポーツ公園ホームページ
<https://www.kinarinosato.net/>

上北山村

観光施設整備、運営による働き場づくり



2 取組の概要

- 平成29年度旧小学校をリニューアルし、シェアオフィスを含む生涯学習センター「とちの木センター」を整備。（現シェアオフィス利用状況：一般社団法人ツーリズムかみきた、一般社団法人がんばろらえ・かみきた）
- 平成31年3月観光施設の運営法人として一般社団法人ツーリズムかみきた設立（とちの木センター内シェアオフィスに事務所設置）により、村観光施設を一体とした管理運営を目指す。
- 令和元年7月、道の駅におけるコンビニエンスストア運営
- 令和2年6月、観光拠点施設として宿泊温泉施設「フォレストかみきた」のリニューアルオープン
- 今後、ツーリズムかみきたによる小処温泉、大台ヶ原物産店の指定管理運営に移行予定。
- 村において、世界遺産の入り口としての旧和佐又山ヒュッテ、旧上北山温泉跡地を整備予定。

1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 村内で就労の場が少なく地元への就職を希望しても選択肢がないため、村外への就職などにより、少子高齢化が進み、年々人口が減少。
- ② 観光立村として観光客誘致と観光での雇用創出を求め中、観光施設が様々な運営状況であり、合理的な運営や誘客と併せた雇用ができてない。
- ③ 施策は、村出資による運営法人設立により、村観光施設の段階的な管理運営一体化、及び観光施設の整備で、村の中心地への観光誘致による地域の賑わいや雇用の創出と地域の経済循環の活性化をもたらす。
- ④ 重点分野は、観光（施設再整備による地域活性化と雇用創出）

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 宿泊温泉施設「フォレストかみきた」での正規職員従業員を村外から14人雇用。（うち、転入13名）
- 村内での人口が少なく、パート・アルバイトの確保が困難。
- 今後、観光施設を一体に管理するスケールメリットを活かした運営で、自然や田舎暮らしを求める村外からの移住者への働き場として、働き方改革や移住定住に結び付く雇用を目指す。

詳しくは 上北山村企画政策課 TEL07468-2-0001